

〔クロチアニジン・スピネトラム・  
イソチアニル・フラメトピル粒剤〕

農林水産省登録 第23033号

性 状：類白色細粒

毒 性：普通物

危険物：—

有効年限：5年

包 装：1 kg×12袋、3 kg×6袋、12 kg×1袋

# 箱 い り 娘<sup>®</sup> 粒 剤

有効成分：クロチアニジン……………1.5% スピネトラム……………0.50%  
イソチアニル……………2.0% フラメトピル……………4.0%



「住友化学農業ガイド」の見方：i-農カサイトの「製品情報」、「農業ガイドを見る」から、「農業ガイドの見方」をご覧ください。  
本剤の最新情報：こちらのQRコードを読み取るとi-農カサイトに掲載されている本剤の最新情報をご覧いただけます。

## 〔適用と使用方法〕

| 作物名         | 適用病害虫名   | 使用量                                       | 使用時期*          | 総使用回数*   | 使用方法                          |
|-------------|--|---|----------------|--|-------------------------------|
| 稲           | いもち病<br>紋枯病<br>イネドロオイムシ<br>イネミズゾウムシ<br>ニカメイチュウ   | 1 kg/10 a                                 | 移植時            | 本 剤：1回<br>クロチアニジン：4回<br>(#1)<br>スピネトラム：3回<br>(#2)<br>イソチアニル：3回<br>(#3)<br>フラメトピル：2回<br>(#4)    | 側条施用                          |
| 稲<br>(箱育苗)  | いもち病<br>紋枯病<br>白葉枯病<br>もみ枯細菌病<br>穂枯れ<br>(ごま葉枯病菌)<br>内穎褐変病<br>疑似紋枯症<br>(褐色紋枯病菌)<br>疑似紋枯症<br>(赤色菌核病菌)<br>疑似紋枯症<br>(褐色菌核病菌)<br>コフノメイガ<br>イネミズゾウムシ<br>ウンカ類<br>ツマグロヨコバイ<br>イネドロオイムシ<br>フタオビコヤガ<br>ニカメイチュウ<br>イネツトムシ<br>イネヒメハモグリバエ | 育苗箱<br>(30×60×3cm、<br>使用土壌約5L)<br>1箱当り50g | 移植7日前～<br>移植当日 | 本 剤：1回<br>クロチアニジン：4回<br>(#5)<br>スピネトラム：3回<br>(#6)<br>イソチアニル：3回<br>(#7)<br>フラメトピル：2回<br>(#8)    | 育苗箱の上<br>から均一に<br>散布する        |
| 湛水直播<br>水 稲 | いもち病<br>紋枯病<br>イネミズゾウムシ<br>イネドロオイムシ<br>ニカメイチュウ<br>フタオビコヤガ<br>イネツトムシ<br>キリウジガガンボ  | 1 kg/10 a                                 | は種時            | 本 剤：1回<br>クロチアニジン：4回<br>(#9)<br>スピネトラム：3回<br>(#10)<br>イソチアニル：3回<br>(#11)<br>フラメトピル：2回<br>(#12) | は種同時施<br>薬機を用い<br>て土中施用<br>する |

#1：直播では種時又は移植時までの処理は1回、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回

#2：直播では種時又は移植時までの処理は1回、本田での散布は2回

#3：直播では種時又は移植時までの処理は1回、本田では2回

#4：直播では種時又は移植時までの処理は1回

- #5: 移植時までの処理は1回、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回
- #6: 移植時までの処理は1回、本田での散布は2回
- #7: 移植時までの処理は1回、本田では2回
- #8: 移植時までの処理は1回
- #9: は種時までの処理は1回、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回
- #10: は種時までの処理は1回、本田での散布は2回
- #11: は種時までの処理は1回、本田では2回
- #12: は種時までの処理は1回



## 効果・薬害等の注意

- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植する。
- 側条施用する場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用する。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがあるので注意する。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはいねいに行い、移植後田面が露出しないように注意する。
- いぐさ栽培予定水田では使用しない。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しない。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布する。  
また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさける。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。



## 安全使用上の注意



- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 散布後は水管理に注意する。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

## 〔品目特性〕

- いもち病、紋枯病など水稻の主要病害に優れた効果を発揮します。
- 水稻初期害虫、ウンカ類、コブノメイガ、フタオビコヤガなど水稻の主要害虫に優れた効果を発揮します。
- イネに対する安全性が高い薬剤です。